

## 地域インターンシップ・プログラム (LIP) について

### 1. 地域インターンシップ・プログラム (LIP=Local Internship Program) とは

2008 年から実施されている地域が抱える課題を和歌山大学観光学部の学生が調査するプログラム。学生が各地域を訪問してさまざまな活動に取り組み、地域が抱える問題を明らかにして解決方法を探る。今年度実施プログラムは 17 件。今回、都市計画課提案プログラムが採択され、実施中。

### 2. プログラム概要

テーマ	景観資源活用による景観意識の向上と地域の賑わい・活性化への貢献
活動地域	岸和田市内全域
活動内容の概要	岸和田市の「景観資源」の活用方法を検討し、市民の景観意識の向上や地域の賑わい創出、地域への愛着アップを目指す。 岸和田市が 2012 年から実施している「こころに残る景観資源発掘プロジェクト」を広く市内外へアピールし、市民の景観意識や地域への愛着、さらにはシビックプライドの向上に結び付けていくための取り組みやその仕組みづくりを行う。
実施予定年度	2021 年度 ～ 2023 年度まで
地域での活動日数	15 日程度 * この他学内での事前・事後学習を実施
プログラム担当教員	堀田 祐三子教授
参加学生数	4 名

活動目的と到達点・求める成果
市民目線、行政目線で行われてきた「景観資源」の評価に加えて、外部の若年層目線での評価が可能になる。その評価や学生の柔軟な発想をもとにした新しい資源活用方法の創出が、まちの PR や賑わい、活性化、イメージアップにつながることを期待する。

今年度の活動計画
「こころに残る景観資源」の利活用を検討するにあたり、 <ul style="list-style-type: none"> <li>● これまでの景観に関する岸和田市の取り組みを学ぶ、景観について学ぶ</li> <li>● 景観資源の現地調査を行う（資源を巡り資源を評価、資源周辺の集客資源調査等）</li> <li>● 景観資源に対する市民意識を調べる （例：既存アンケート結果の分析、現地ヒアリング、まちかど審査でのヒアリング等）</li> <li>● 景観資源を鑑賞する行為を誘発する仕掛けを検討・提案する（周遊コースの設定等）</li> <li>● 周遊方法や周遊ルートの検討と提案（時期・PR 方法なども含む）</li> </ul>
次年度以降の活動計画（予定）
2022年：2021年で行った方法とルートを具体的に設定し、そのルート調査と評価 （見どころ、注意点の整理など）、岸和田市観光集客需要調査等
2023年：2022年に作成した周遊ツアーの実施と検証等